

# 輝 ねむろ

We Love Nemuro!

## 根室と黒部の橋渡し役に



「私が思っていた以上に北方領土返還運動が盛んな街であることを知りました」と、根室に来てからの印象を語ってくれたのは、姉妹都市黒部市との職員派遣交流事業で、4月から北方領土対策課に勤務する能登啓尚さんです。能登さんは、サイクリングが趣味で、学生時代から函館や釧路、時には小樽から札幌を抜け旭川まで走破するなど北海道の大自然に魅了され計8回も訪れています。

道東は釧路から先は初めてとあって「見るもの・味わうこと全てが新鮮で、毎日を楽しんで過ごしています。」と話す一方で、赴任早々、納沙布岬に訪れた際、北方領土のあまりの近さに驚きと衝撃を受けたそうです。

「根室に来て、2カ月が経ち、業務内容がこれまでの経験とは一切関わりなく、日々勉強の毎日です。残り1年10カ月と短い期間ですが、その間に領土問題に大きな進展があり、それに関することができたら幸いです」と話しつつも、「黒部の若い世代には領土問題を知らな人が増えているので、ここでの体験を伝えたい」と意気込む能登さん。今後、更に黒部市との絆を深めてくれることでしょう。

### profile 能登 啓尚 さん

富山県黒部市職員（相互派遣交流により根室市勤務）

1977年富山県黒部市生まれ。2002年黒部市に入庁。2010年から実施されている姉妹都市である黒部市との「相互派遣交流」の第3回目の派遣職員。趣味はサイクリングで、4月中旬には根室と別海町役場を往復したほど。



長谷川市長から激励の言葉を受ける能登さん

## 図書館からの おくりもの

司書 石田 朱音  
図書館 TEL (23) 5974番



はじめまして、道北出身の石田朱音（あかね）です。憧れの図書館司書として根室市図書館に勤務し、2カ月が経ちました。根室に住むのは初めてで、自然の豊かさや食べ物のおいしいさなど、その素敵さに魅了されています。

皆さんは日々、読み聞かせに触れる機会をお持ちですか？私はこちらに来てすぐの頃、松永館長に『みさきめぐりのとしまかんバス』の読み聞かせをしていただきました。大きく深い愛を感じ、幼少期に両親が絵本を読み聞かせてくれた温かい時間を思い出しました。読み聞かせに卒業はないということを実感し、その「力」を再確認しました。

そんな私も、4月26日の「こどものつどい」で読み聞かせデビューをさせていただきました。最初の手遊びから、中村司書補の一举一動で会場が温まっていくのを感じ、子どもたちの笑顔で溢れる会場を見て、「私もこのような楽しい会ができるようになりたい」と強く思いました。

本と人をつなぎ、人と人をつなぐ場所であるこの図書館で、司書としても人間としても成長していきたいと思っています。図書館力ウンターで、また色々な行事の折に皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。